

9. 工事細目
(1) 配管材料

■ 給水管	<ul style="list-style-type: none"> 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116 (一般: SGP-VA, VB 地中: SGP-VD) フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中: SGP-FVD) 水道用硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般・地中: H1VP) 水道用ポリエチレン管 JWWA K 144 (地中: PE) ※ 地中埋設管VDは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100A以上はフランジ接合(工場加工)とする。
■ 冷温水配管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) 耐熱塩ビライニング鋼管 JWWA K 140 (一般: SGP-HVA)
■ ドレン管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP) 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS-62 (RS-VU) 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 AS-59 (RF-VP) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。 耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 冷却水管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116 (一般: SGP-VA, VB) フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB) ※ 100A以上はフランジ接合(工場加工)とする。
■ 冷媒管	<ul style="list-style-type: none"> 鋼及び鋼合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品ただし、保温厚はガス管 20mm、液管 10mmとする。 ※冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。
■ 油管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合

※ 弁類 横水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は 10kgf/cm² とし、それ以外は、5kgf/cm² とする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又は、ライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋼鉄管			直管及び異形管各1本につき1ヶ所

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管 鋼鉄管	-	65A~100A	125A~
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 短形ダクト
 - 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上 ※アングルフランジ工法とする
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 形鋼補強
 - 山形鋼 JIS G 3101
 - SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
 - スパイラルダクト
 - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管(多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9504 2号 40K 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K	
■ 給水管	□ 汚水管	■ 冷温水管
□ 雑排水管	□ 鉛管	■ ドレン管
□ 通気管	□ 給湯管	□ 蒸気管
□ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温板、保温帯、ブランケット 1号JIS A 9504	
□ 給水管	□ 汚水管	□ 冷温水管
□ 雑排水管	□ 鉛管	□ ドレン管
□ 通気管	□ 給湯管	□ 蒸気管
■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋外等)	保温筒 JIS A 9511 3号 保温板 JIS A 9511 3号	
■ 給水管	□ 汚水管	□ 冷却水管
□ 雑排水管	□ 鉛管	□ ドレン管
□ 通気管	□ 給湯管	□ 消火管

2) 配管保温厚

・グラスウール						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	
給水・排水・ドレン 給湯・温水・消火管	~80A	100A~ 150A	-	200A	250A~	
蒸気管	-	~25A	32A~ 50A	65A~ 150A	200A~	
冷水・冷温水 冷媒・膨張管	-	-	~25A	32A~ 200A	250A~	

・ロックウール						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	
給水・排水・ドレン 給湯・温水・消火管	~80A	100A~ 150A	-	200A	250A~	
蒸気管	-	~25A	32A~ 50A	65A~ 150A	200A~	
冷水・冷温水 冷媒・膨張管	-	-	~25A	32A~ 200A	250A~	

・ポリスチレンフォーム (屋外露出または多湿箇所)

保温厚 (mm)	20	30
給水・消火・排水管	~150A	200A~

・機器ダクト保温厚

保温厚 (mm)	
25mm	ダクト(隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(隠蔽部)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷温水ヘッダー、排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙導(ロックウール)

給水・排水・ドレン・給湯・温水・蒸気管保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	原紙	綿布塗装仕上
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P.S内	アルミガラス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
床下・暗渠ピット内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表床下・暗渠ピット内の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブタン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の保温は寒冷地(北勢・伊賀地区)屋外露出部のみ施工のこと。

冷水・冷温水・冷媒・膨張管保温仕様

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	綿布塗装仕上
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P.S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
床下・暗渠ピット内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上
■ SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

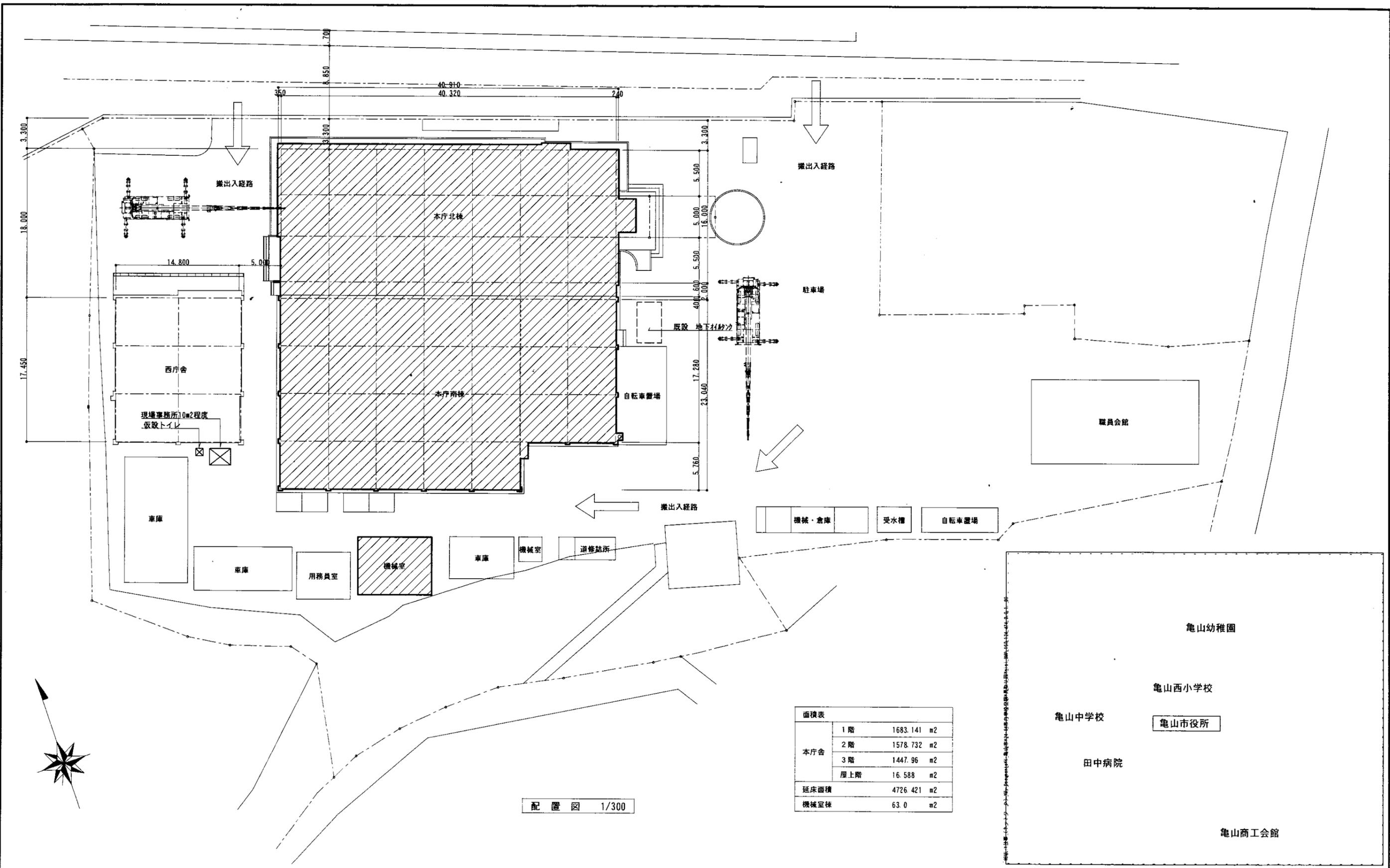
ダクト・チャンパー・煙導保温仕様

		1	2	3	4
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄線	保温板	カラー鉄板
	機械室		鉄線	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D.S内		鉄線	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所		鉄線	保温板	アスファルトルーフィング
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	アスファルトルーフィング SUS鋼板
サブライチャンパー		鉄線	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンパー・エルボ		鉄線	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄線	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙導		ブランケット	鉄線	カラー鉄板	

10. 指定資材及び参考見積りメーカー

分類	資材名	規格・メーカー等 (アイウエオ順)
管	塩ビライニング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管	JISマーク表示品
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	リサイクル塩化ビニル管	塩化ビニル管・継手協会規格品
	鋼管	冷媒用 鋼イノアックコーポレーション 神手戸製鋼所 住友軽金属工業 三義マテリアル または同等品以上
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	継手	ライニング鋼管継手 管端防食 JPF規格品 フランジ WSP規格品
井	鋼管継手	外面含む JISマーク表示品
	ビニル管継手	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	鋼管継手	冷媒用 鋼イノアックコーポレーション 東洋フィッティング または同等品以上
	ステンレス鋼管継手	JISマーク表示品 SAS規格品
	伸縮管継手(ベローズ形、スリーブ形)	設備機材等評価名簿による
	可とう継手	トーフレ 東洋バルブ 日立金属 鋼管 鋼大和バルブ 鋼ヨシタケ または同等品以上
	青銅弁・鋼鉄弁	JISマーク表示品
保温材	減圧弁・温度調整弁	設備機材等評価名簿による
	その他弁類	鋼キッツ 東洋バルブ 日立金属 鋼管 鋼大和バルブ 鋼ヨシタケ または同等品以上
	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材	JISマーク表示品
ポンプ類	横型遠心ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 立形遠心ポンプ	設備機材等評価名簿による。
電動機	電動機	神鋼電機 鋼東芝 日立製作所 富士電機 松下電器産業 三菱電機 鋼明電舎 または同等品以上
冷凍機	チリングユニット 直突吸収冷水機 小型吸収冷水機ユニット 遠心冷凍機	設備機材等評価名簿による。
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 コンパクト形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	設備機材等評価名簿による。
冷却塔	冷却塔	設備機材等評価名簿による。
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工 高砂ゴム 特許機器 鋼プリアストン 明治ゴム化成 または同等品以上
ダクト	亜鉛鉄板 ステンレス鋼板	JIS規格品 JIS規格品
自動制御	自動制御システム	設備機材等評価名簿による。

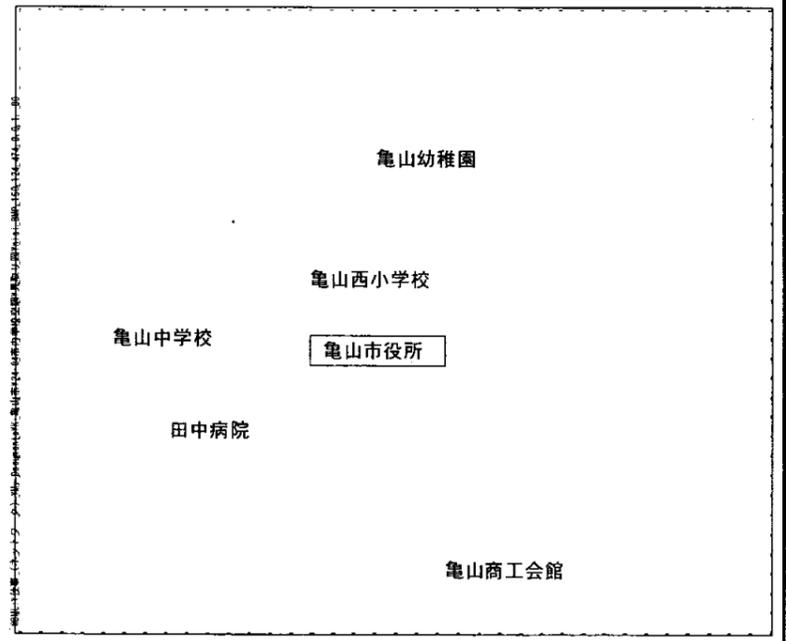
【注記】 ① JISマーク、水マーク (JWWA: 日本水道協会規格)、WSP (日本水道協会規格)、SHASE-S (空気調和・衛生工学会規格)、JPF (日本金庫協会規格)、SAS (ステンレス協会規格) の番号については、「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)」、「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)」による。
② JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外観、容積の外観、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。
③ 評価事業名簿とは、国土交通省大臣官房官庁記録部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿(平成21年版)をいう。但し、評価事業名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区又は近畿地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。



配置図 1/300

面積表		
本庁舎	1階	1683.141 m ²
	2階	1578.732 m ²
	3階	1447.96 m ²
	屋上階	16.588 m ²
延床面積		4726.421 m ²
機械室棟		63.0 m ²

付近見取図



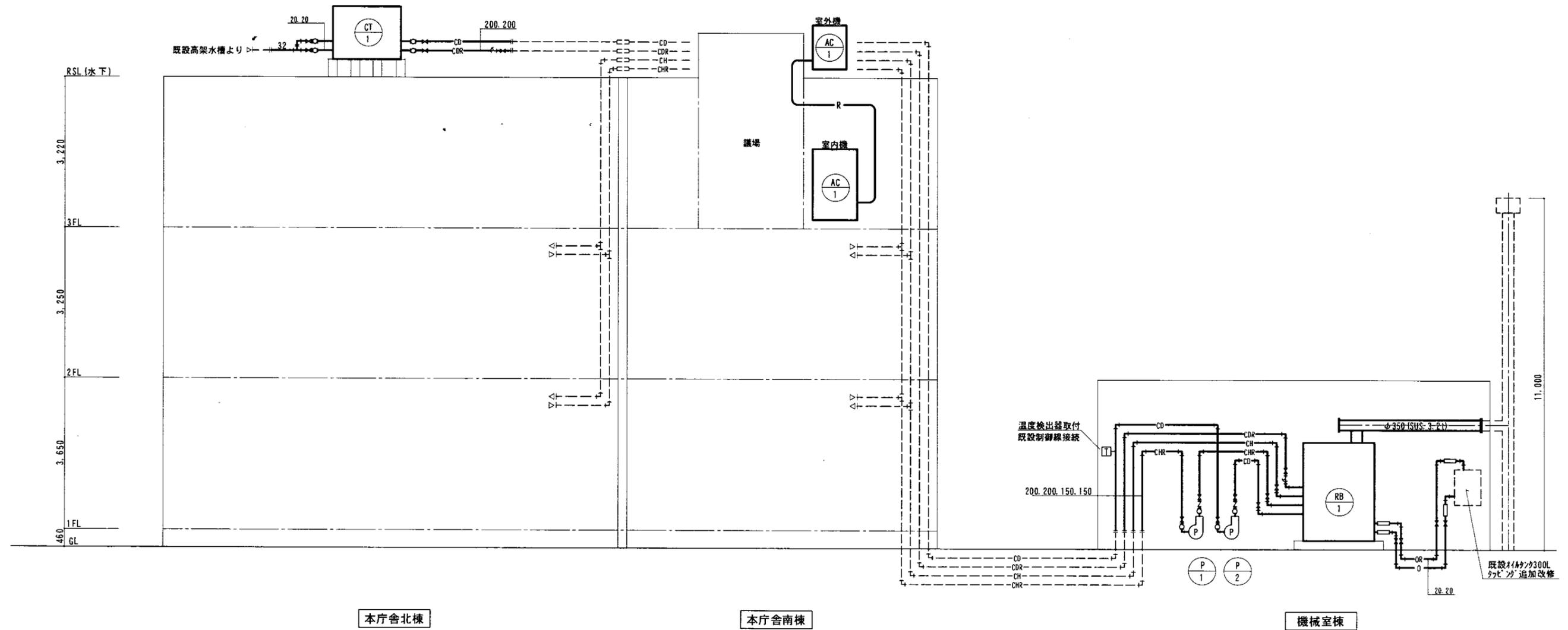
改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士	承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013	No. M-3
				マツダ設計						年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-50 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大田登録 254600 松田 恭一				図面名	1/300	縮尺
									配置図 付近見取図		

機器仕様 (新設)						
記号	名称	数量	仕様	電気容量		備考
				電源	出力(電力)	
RB-1	吸収冷温水機	1基	形式 : 屋内型 冷房時COP1.2以上 JIS基準 冷房能力: 563kW (160RT) 圧力損失: 88kPa 冷水量: 1613L/min (12.0℃→7.0℃) 暖房能力: 471kW 圧力損失: 88kPa 温水量: 1613L/min (55.8℃→60.0℃) 圧力損失: 88kPa 冷却水量: 266L/min (32.0℃→37.3℃) 圧力損失: 88kPa 燃料消費量(灯油): 47.9L/h (冷房最大) 52.3L/h (暖房最大) 灯油焚き 燃焼制御: PDI+ON-OFF制御 耐震: 1.0G 【特記仕様】 センサー本体組込み 公共工事標準仕様 防振ネット	3φ/200V/60Hz	12.8kVA (参考)	コンクリート基礎(現場打) 既設換気機器とのインターロック 製造工場内にて外観・寸法検査を行う 設置場所: 屋外機械室内
CT-1	冷却塔	1基	形式: 二重効用吸収式冷温水発生機低騒音型 冷却能力: 160RT 冷却水量: 2700L/min (37.3℃→32.0℃) 外気温湿球温度27℃WB 耐震レベル1.5G 垂釣メッキ仕様 自動ブロー装置(電動ボール弁・配線とも) 防振架台 ※架台は既設基礎アンカーに合わせて作製すること。	3φ/200V/60Hz	5.5kW以下	既設基礎利用(防水補修) 設置場所: 屋上
P-1	冷温水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 2P 100A×80A×1.613L/min×64.3mH メーカー付属品: 圧力計、連成計 防振架台 公共工事標準仕様	3φ 200V	30kW	既設基礎利用(ケレン補修) 設置場所: 屋外機械室内
P-2	冷却水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 2P 100A×80A.700L/min×21mH メーカー付属品: 圧力計、連成計 防振架台 公共工事標準仕様	3φ 200V	15kW	既設基礎利用(ケレン補修) 設置場所: 屋外機械室内
AC-1	空冷式V캐지エアコン	1	設備用床置形 インバーター 冷房能力: 71.0kW 暖房能力: 80.0kW 室内機風量: 200m3/min 431pa 室内送風機: 5.5kW 加湿器: 13kg/h (水スプレー等) 背面吸込口(標準フィルター) 防振架台 【特記仕様】 公共工事標準仕様 防振架台(室内外) アクティブフィルター リモコン(本体、遠方)2か所 温度検知器 ※77W出力は参考とする。	3φ 200V		既設基礎利用(防水補修) ※架台現場作製 製造工場内にて外観・寸法検査を行う 設置場所: 3階機械室(室内機) 屋上(室外機)

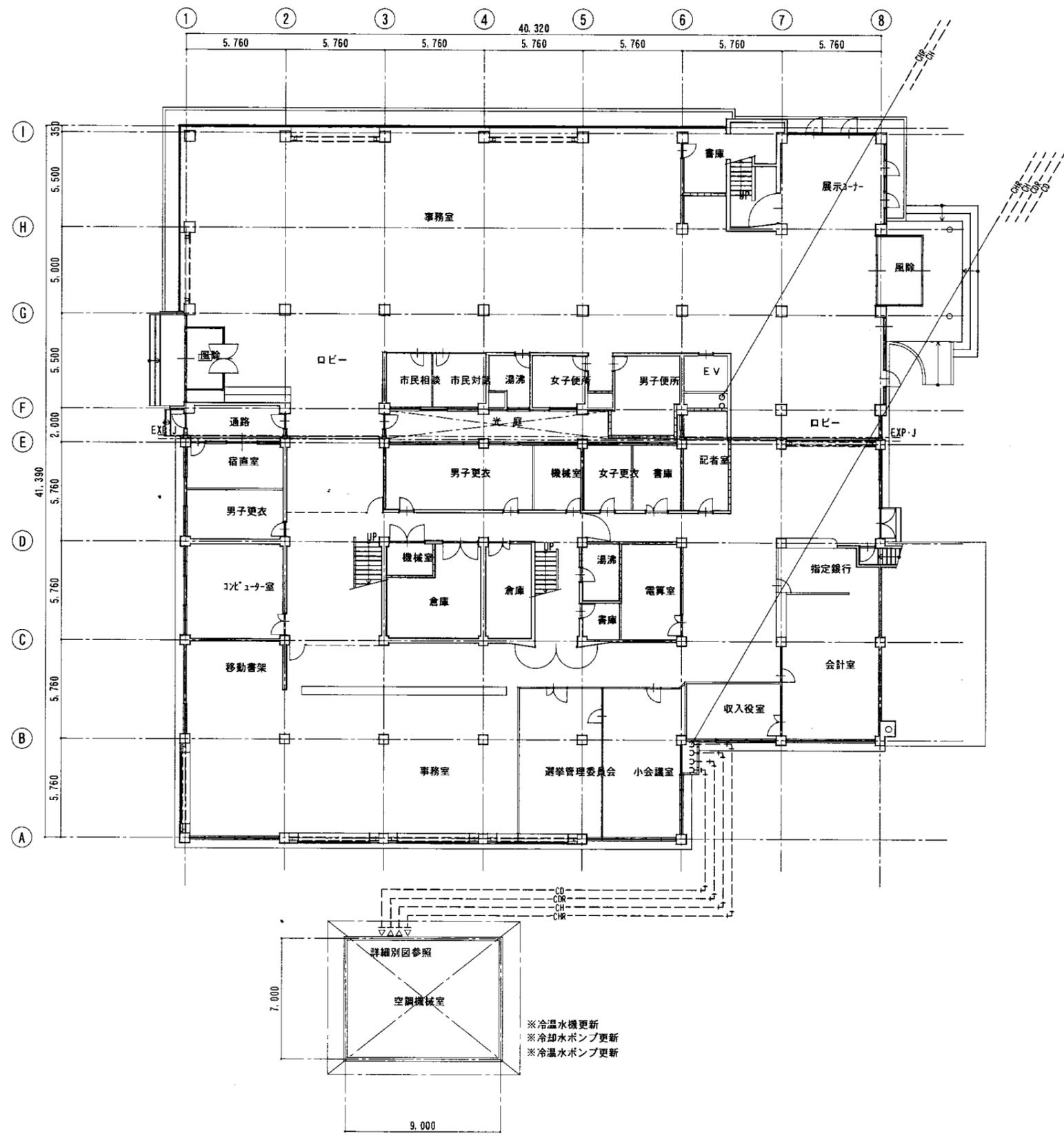
機器仕様 (撤去)						
記号	名称	数量	仕様	電気容量		備考
				電源	出力(電力)	
RB-K1	吸収冷温水機	1	二重効用灯油炊 吸収式冷温水発生機 冷房能力: 160RT 暖房能力: 40,500kcal/h 冷却水流量: 162m3/h 冷温水流量: 96.8m3/h 燃料消費量(灯油): 44.9L/h (冷房最大) 44.9L/h (暖房最大) ※寸法、重量は参考 搬出重量: 4.6t (二分割) 三菱重工 MOF-16A	3φ 200V	13.3kVA	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
CT-K1	冷却塔	1	超低騒音型 冷却能力: 160RT 外形寸法: 4.230L×2.770W×2.900H 送風機: 5.5kW 空研工業 SKB-160GRS	3φ 200V		標準基礎 設置場所: 屋上
P-K1	冷温水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 100A×80A×1.610L/min×61mH	3φ 200V	30kW	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
P-K2	冷却水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 150A×150A×2.700L/min×21mH	3φ 200V	15kW	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
AC-K1	空冷式V캐지エアコン	1	床置ダクト形 冷房能力: 50800kcal/h 暖房能力: 61100kcal/h 室内機風量: 12000m3/h 44mmAq 室内送風機: 5.5kW フレッド加湿器: 13kg/h 二重防振架台 177kg	3φ 200V		標準基礎 設置場所: 3階機械室(室内機) 屋上(室外機)

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-4
				マ ッ ダ 設 計	一級建築士 大田茂樹 264600 松田 恭一	図面名 空調設備 (新設)・(撤去)機器仕様		
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590				

(改修)配管図示記号	
	新設配管
	既設配管
	既設配管・新設配管接続部分

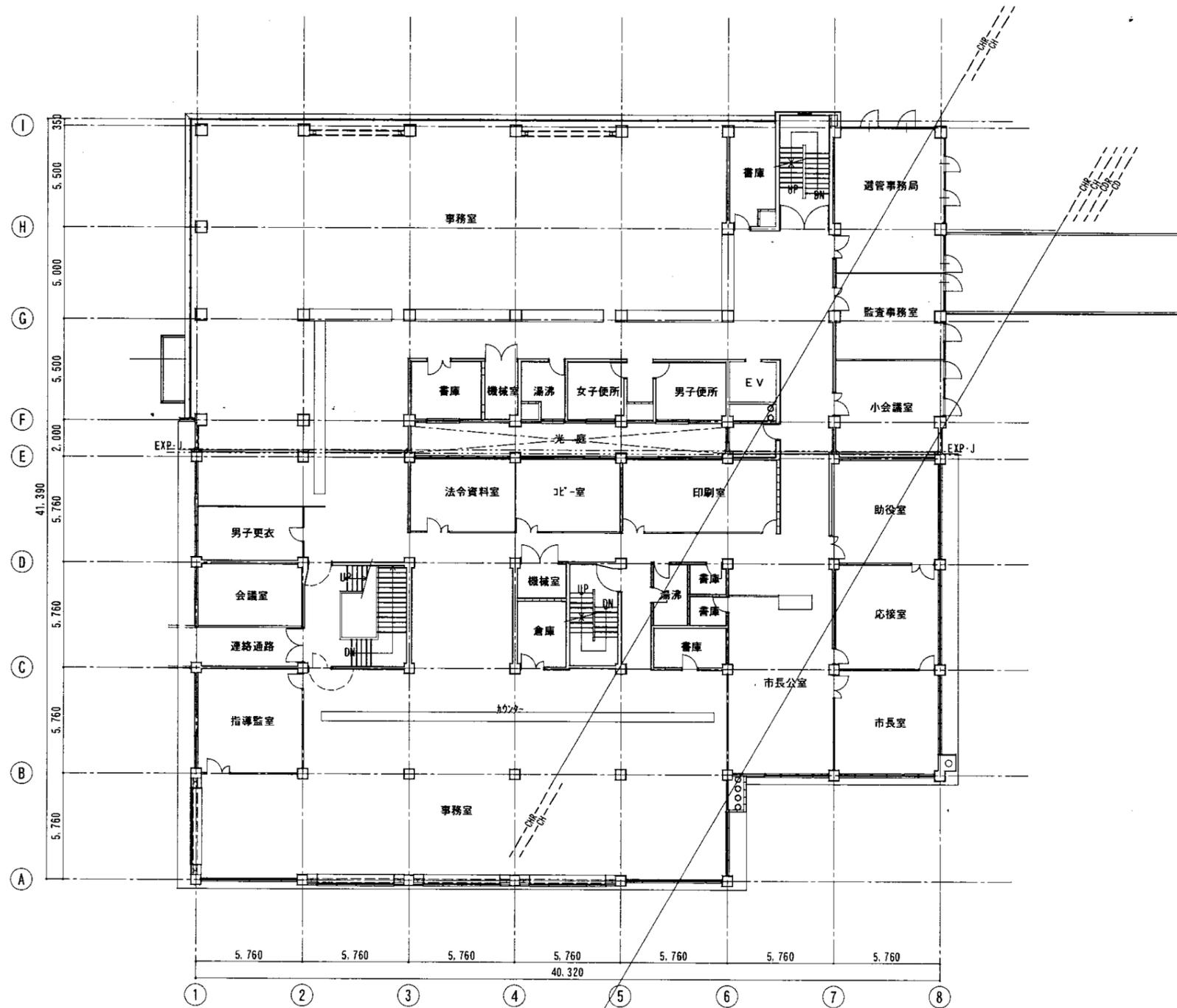


改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-5
				マツダ設計	一級建築士 大臣登録 264603 松田 恭一			図面名 空調設備 配管系統図	年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590					年月日	



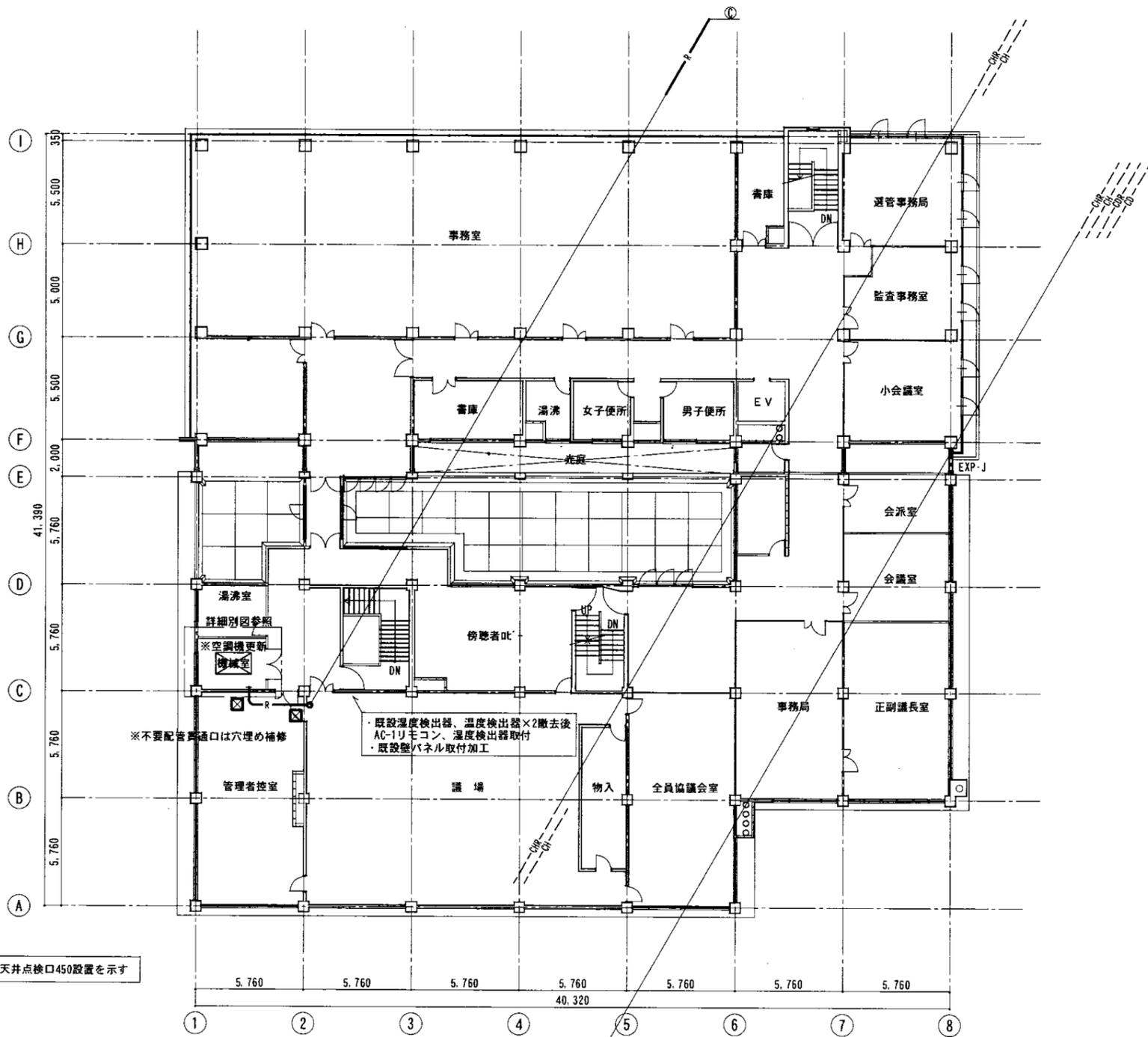
1階平面図 S=1/200

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-6
				マツダ設計	一級建築士 大臣登録 254509 松田 恭一				図面名 空調設備 1階平面図	



2階平面図 S=1/200

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No.
				マツダ設計	一級建築士 大臣登録 22460 松田 恭一			図面名 空調設備 2階平面図	1/200 縮尺	M-7
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590						



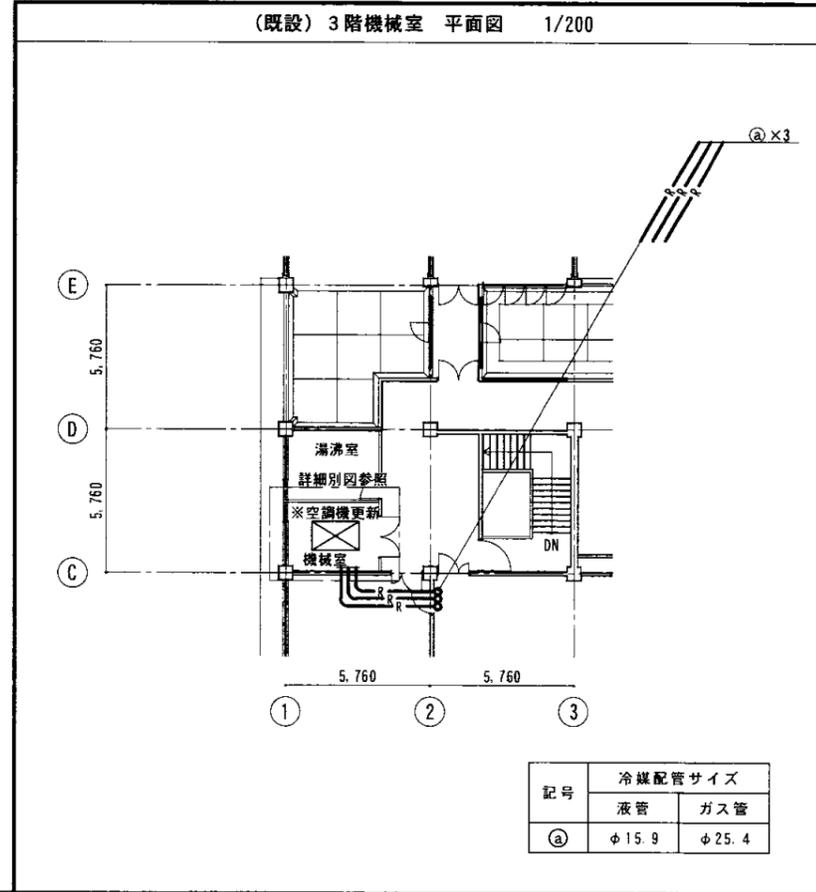
図中 □ は天井点検口450設置を示す

・既設温度検出器、温度検出器×2撤去後
AC-1リモコン、湿度検出器取付
・既設壁パネル取付加工

5.760 5.760 5.760 5.760 5.760 5.760 5.760
40.320

3階平面図 S=1/200

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4
Ⓑ	φ15.9	φ28.6
Ⓒ	φ19.1	φ31.8

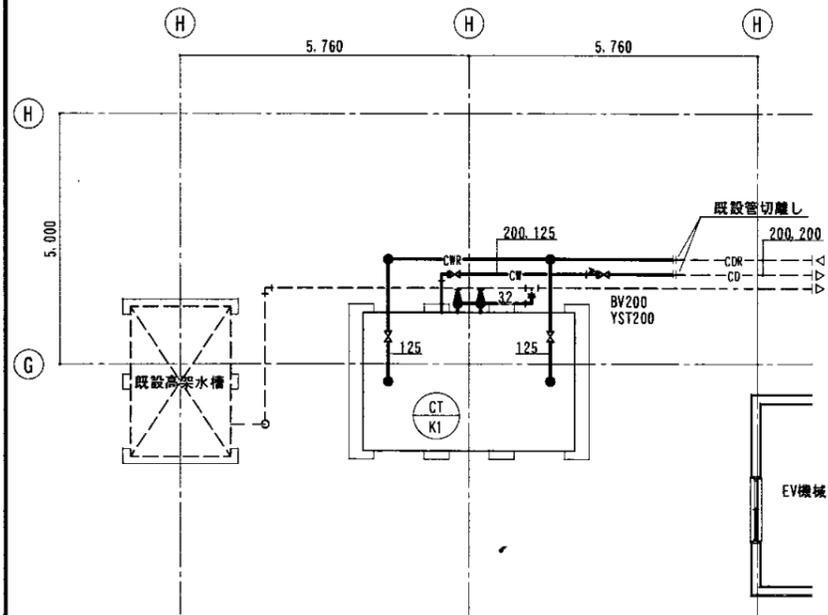


(既設) 3階機械室 平面図 1/200

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ15.9	φ25.4

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-8
				マツダ設計	一級建築士 大臣登録 234600 松田 恭一			
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 053-228-6590				

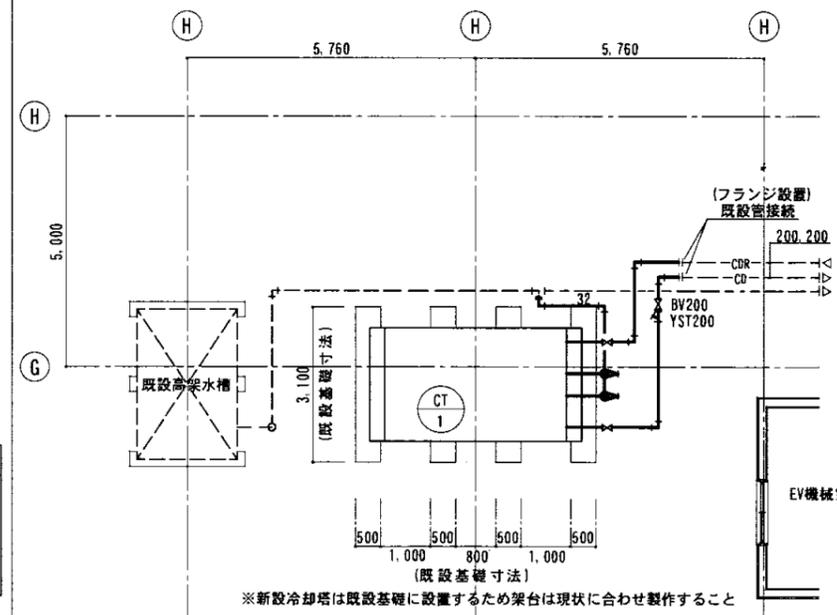
(撤去) 屋上 詳細図 1/100



撤去CT-K1周り配管・付属品	
冷却水管SGP(白)	BV200, BV125×2 不要冷却水管撤去(途中切離し)
補給水管SGP-VA	GV32×2 不要給水管撤去(途中切離し)
排水・オーバーフロー管SGP(白)	BV80 防虫網(SUS) 不要排水管撤去(途中切離し)

- 撤去工事要領**
1. 冷却塔、周辺配管、付属品の撤去処分をおこなう。
 2. 既設基礎は再利用のため機器撤去後補修を施す。
 3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
 4. 施工時は防水面、周辺配管、機器に養生を施すこと。

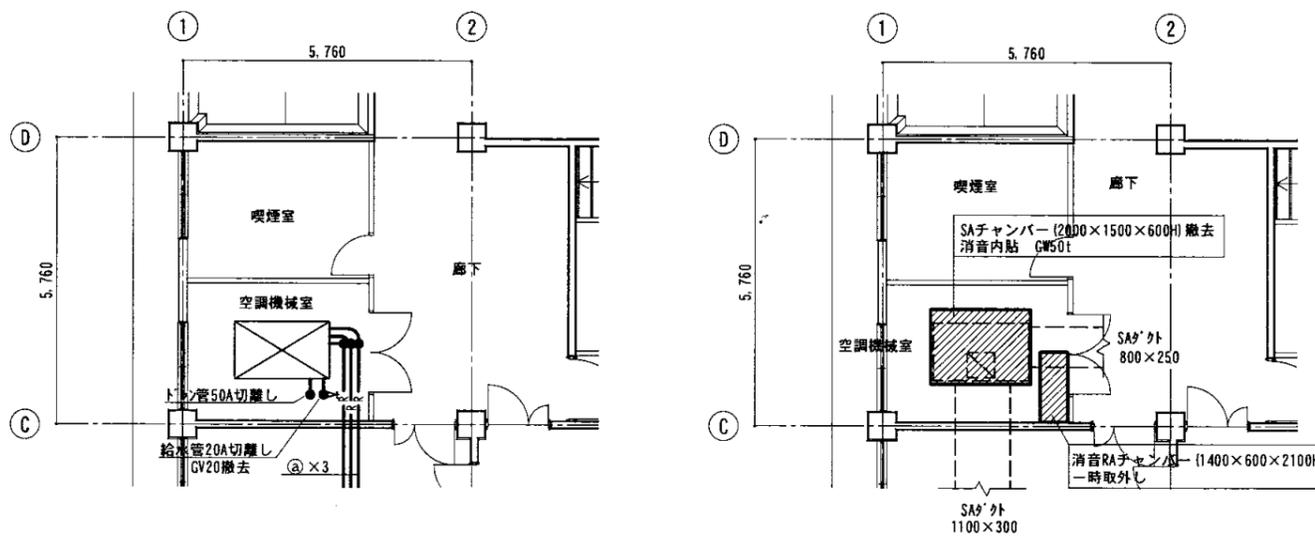
(改設) 屋上 詳細図 1/100



撤去CT-K1周り配管・付属品	
冷却水管SGP(白)	BV150×2 FJ150(合成J'A)×2 既設冷却水管に接続
補給水管SGP-VA	GV20×2 FJ20(合成J'A)×2 既設給水管に接続
排水・オーバーフロー管SGP(白)	GV50 防虫網(SUS)

- 改設工事要領**
1. 冷却塔、周辺配管、付属品の新設をおこなう。
 2. 既設基礎は再利用のため防水補修を施す。
 3. 一部、既設管保温、ラッキングを施す。
 4. 施工終了後、既設周辺機器配管の作動を確認すること。

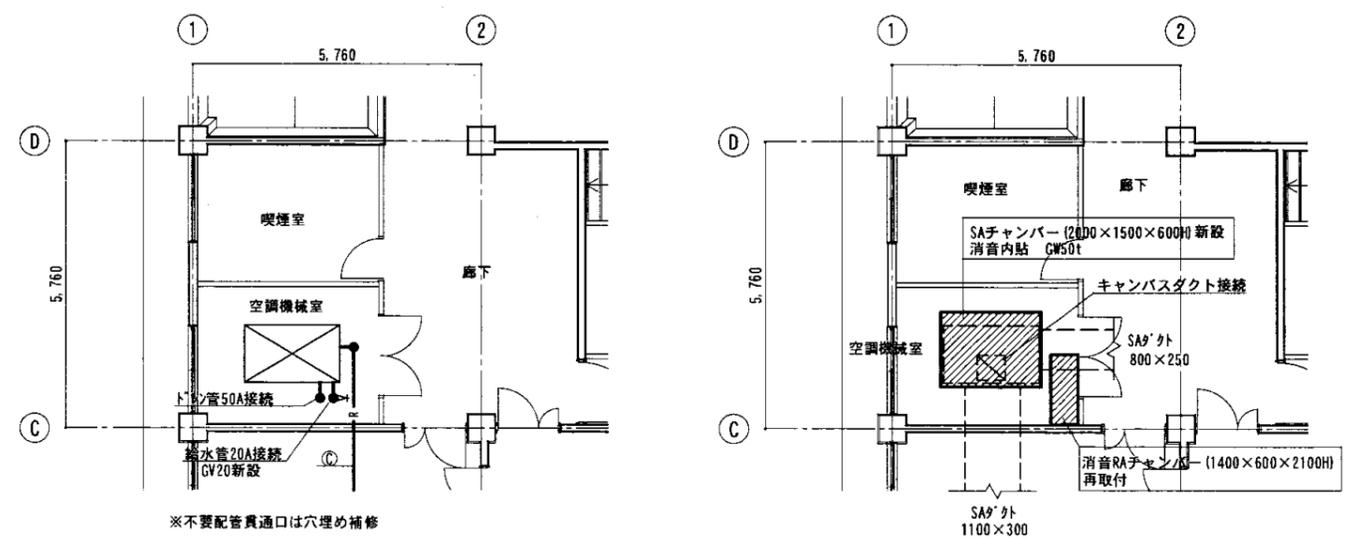
(撤去) 3階空調機室 詳細図 1/100



- 撤去工事要領**
1. 空調機、周辺配管、付属品の撤去処分をおこなう。
 2. 木台撤去あとの床面は必要に応じ補修すること。
 3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
 4. 施工時は屋内外床壁天井等仕上面に養生を施すこと。

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ15.9	φ25.4

(改設) 3階空調機室 詳細図 1/100

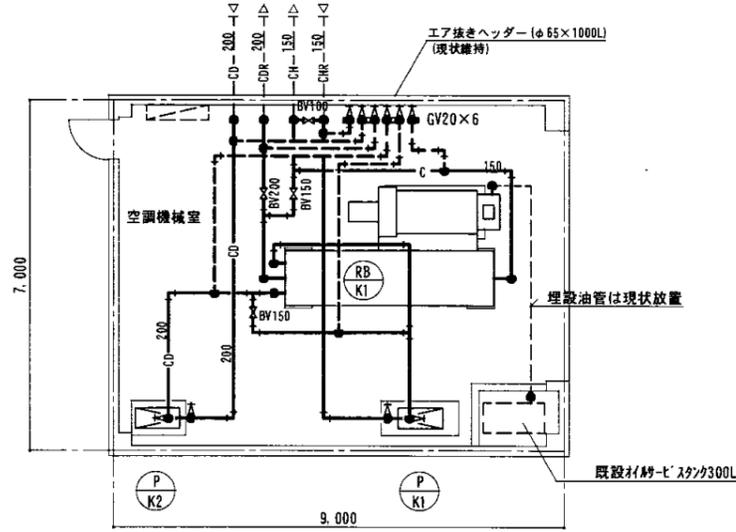


- 撤去工事要領**
1. 空調機、周辺配管、付属品の新設をおこなう。
 2. 架台は強固に床躯体に固定すること。
 3. 冷媒管の壁穴補修は必要に応じ防火処理を施すこと。
 4. 施工時は屋内外床壁天井等仕上面に養生を施すこと。

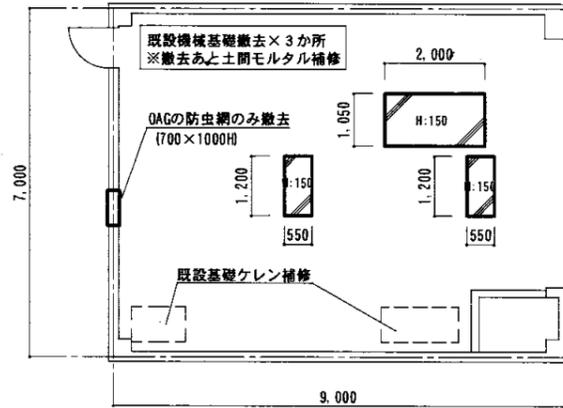
記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4
Ⓑ	φ15.9	φ28.6
Ⓒ	φ19.1	φ31.8

撤去P-K1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	FJ150 (SUS), CV150, BV150×2 不要冷温水配管撤去(機械室内)
撤去P-K2周り配管・付属品	
冷却水管SGP	FJ200 (SUS), CV200, BV200 不要冷却水管配管撤去(機械室内)
撤去RB-K1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	BV150×2 温度計 不要冷温水配管撤去(機械室内)
冷却水管SGP	BV200×2 YST200 温度計 不要冷却水管配管撤去(機械室内)
ドレン・水抜管SGP	25A GV25×4
油管SGP(黒)	20A MV20 不要部分撤去 元管P止め
撤去煙道仕様	
煙道 (SUS製3.2t)	φ350 保温: 岩綿+ランケット+SUSラッキング

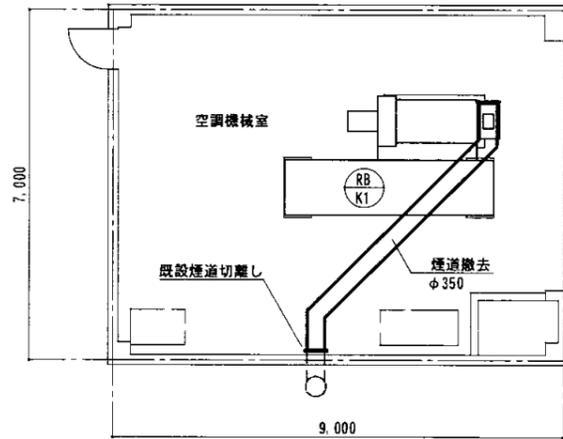
- 撤去工事要領**
1. 機械室内、の空調熱源機器・配管の撤去処分をおこなう。
 2. 埋設配管は現状維持とする。
 3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
 4. 既設不要基礎は撤去し土間補修を施す。



配管類撤去図 1/100



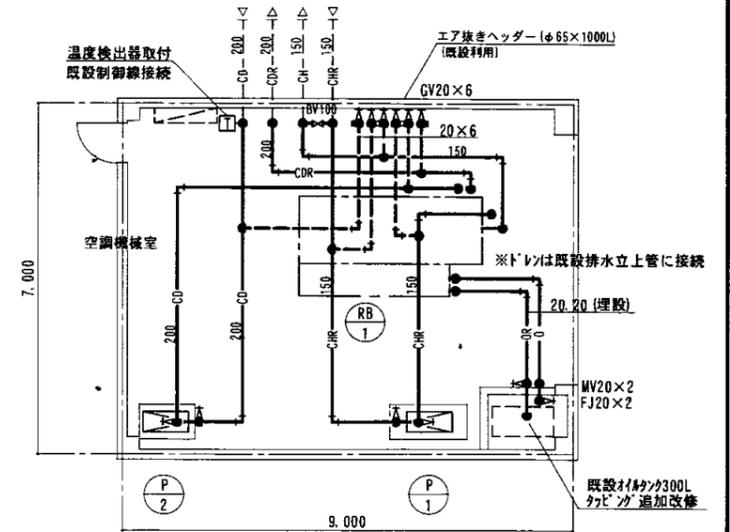
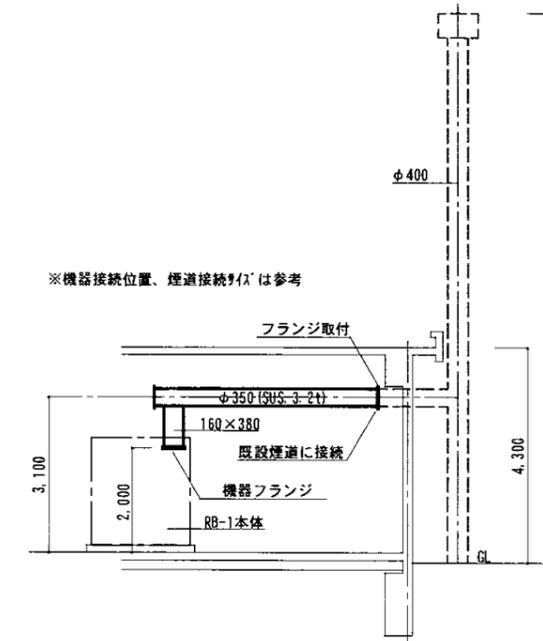
機械基礎撤去図 1/100



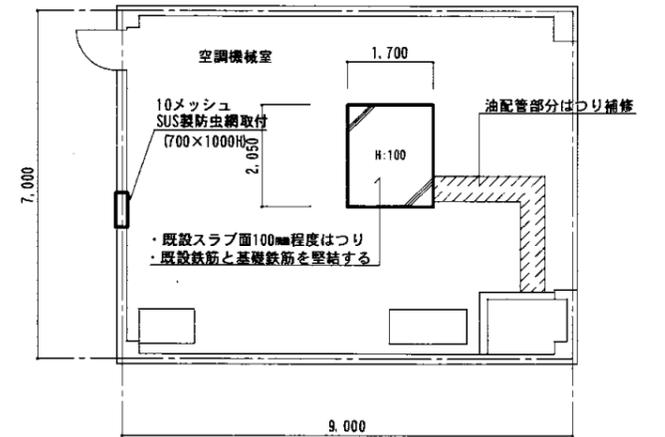
煙道撤去図 1/100

改設P-1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	FJ100 (3" A) × 2, CV100, BV100 × 2 ドレン配管
改設P-2周り配管・付属品	
冷却水管SGP	FJ100 (3" A) × 2, CV100, BV100 ドレン配管
改設RB-1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	BV150×2 YST150 洗浄用タビング 温度計×2 圧力計×2 瞬間流量計
冷却水管SGP	BV200×2 洗浄用タビング 温度計×2 圧力計×2 瞬間流量計
ドレン・水抜管SGP	20A GV20×2 (水抜き) 25A GV25 (排ガスドレン)
油管SGP(黒)	20A MV20×2 FJ20×2
改設煙道仕様	
煙道 (SUS製3.2t)	φ350 保温: 岩綿+ランケット+鋼板ラッキング

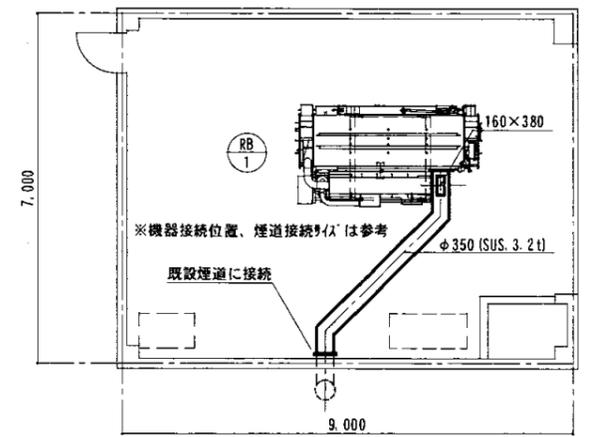
- 改設工事要領**
1. 機械室内、の空調熱源機器・配管の新設をおこなう。
 2. 埋設配管は現状維持とする。
 3. 新設基礎は面取りを施し、既設利用部分は補修する。
 4. 既設不要基礎は撤去し土間補修を施す。
 5. 機器廻り計器類は公共工事標準図による。
 6. 油配管継手は溶接とする。



配管類改設図 1/100



機械基礎改設図 1/100



煙道改設図 1/100

※煙道には、ばい煙濃度測定口を2か所以上設けること。

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	No. M-11
				マツダ設計	一級建築士 大田登輝 254500 松田 恭一				

I. 工事名称 本庁舎内空調機・熱源機更新工事

II. 工事場所 亀山市本丸町 地内

III. 建物概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造, 延面積 (m²), 消防令の適用, 備考

IV. 工事仕様 ※内容が機械設備工事特記仕様書と異なる場合は機械設備工事特記仕様書に準ずるものとする。

Main specification table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for 1. 施工基準, 2. 一般事項, 提出書類, 施工計画等, 工事使用材料等.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for 完成書類, 完成時の操作説明, 完成確認・完成検査時の電源確保, 特定管理産業廃棄物, 諸手続, 消防提出書類, 既設との取合い・養生, 既設設備の調査, 製品確認, 3. 耐震基準.

V. 工事種目

Table with 3 columns: 工事種目, 屋内, 屋外(屋上). Shows 電気設備 一式.

VI. 工事概要

電気設備工事

(1) 電気設備

- 1. 空調機械室内機器取替に伴う電気設備工事。
2. 空調機械室有圧換気扇の制御変更に伴う電気設備工事。
3. 3階議場空調機取替に伴う電気設備工事。

施工条件

施工可能日 機械設備工事特記仕様書に順ずる。

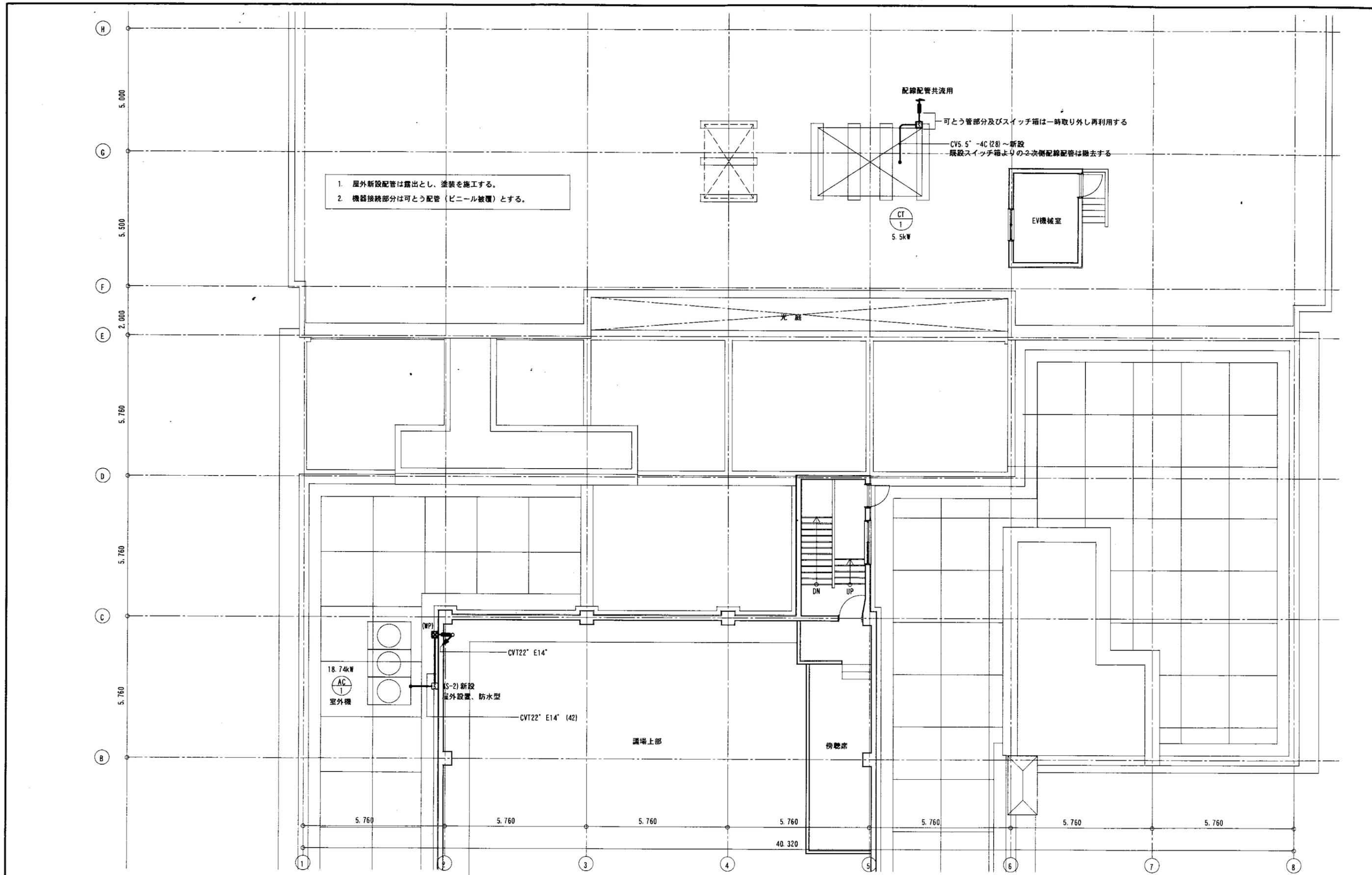
電気設備工事指定資材メーカーリスト

Table with 4 columns: 分類, 資材名, 適用範囲, 規格・メーカー名等 (アイウエオ順). Lists materials like 電線保護物類, 電線・ケーブル付属品, 配線器具, 盤類.

[注記]

「JISマーク等」と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外表面、容器の外表面または、JIS規格証明書の添付できるものをいう。結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるもの。
評価事業名簿とは、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業・設備機材等評価名簿」をいう。
但し、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

Footer table with columns for 改訂日, 改訂記号, 改訂内容, 印, 設計・監理 (マツダ設計), 管理建築士, 承認, 設計, 製図, 本庁舎内空調機・熱源機更新工事, 2013, No. E-1, 電気設備工事特記仕様書.



1. 屋外新設配管は露出とし、塗装を施工する。
2. 機器接続部分は可とう配管（ビニール被覆）とする。

配線配管共用
 可とう管部分及びスイッチ箱は一時取り外し再利用する
 CV5.5' -4C (28) ~新設
 既設スイッチ箱よりの二次側配線配管は撤去する

18.74kW
 AC
 1
 室外機

WP

S-2) 新設
 屋外設置、防水型

CVT22' E14'

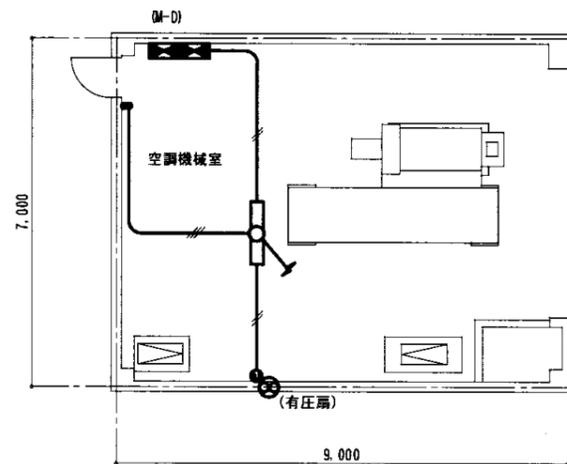
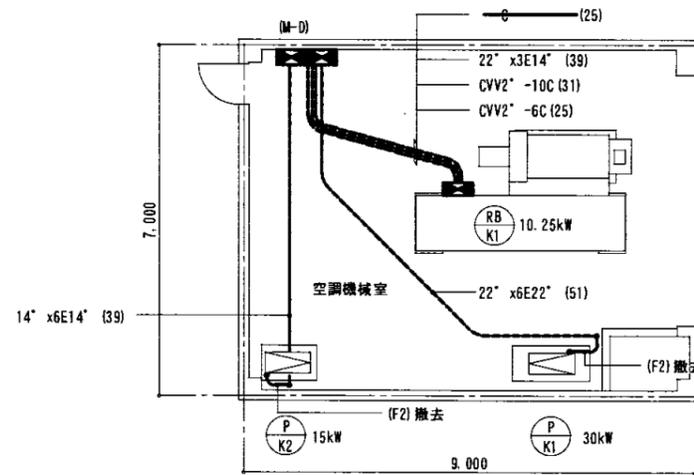
CVT22' E14' (42)

講場上部

傍聴席

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. E-3
				マツダ設計	一級建築士 大臣登録 264502 松田 恭一			
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590				

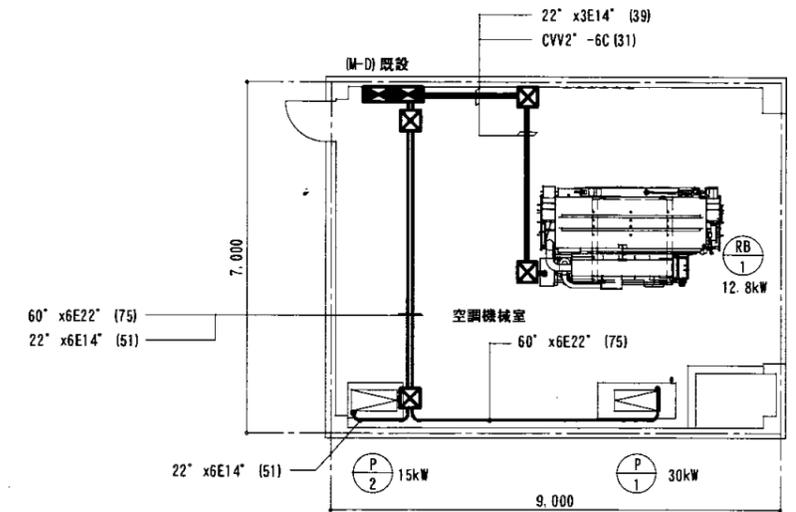
既設



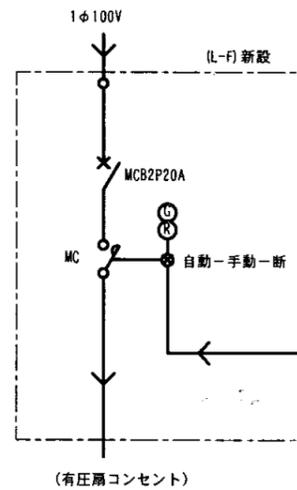
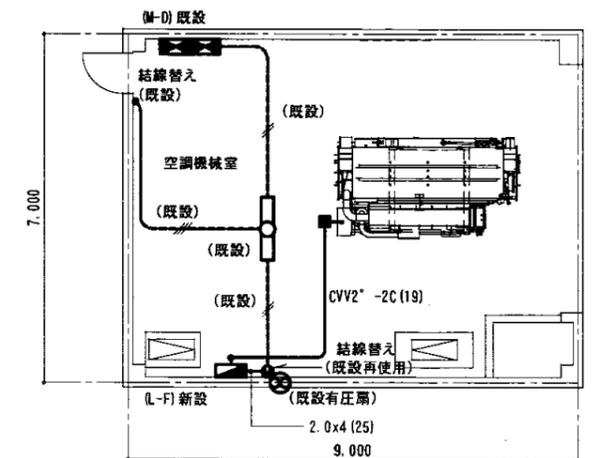
撤去工事要領

1. 図示の機械室内既設動力配線は引き抜き撤去、電灯配線は流用する。
2. 図示の埋設配管は現状維持とする。
3. 図示の露出配管は撤去する、PB-K1制御盤立ち上がり配管はカットし土間上で処理。
4. 有圧扇スイッチは取り外しボックス内で結線替え。

改修後



1. 機械室内新設配管は露出とし、塗装を施工する。
2. ポンプ接続部分は可とう配管（ビニール被覆）とする。
2. 既設制御盤（M-D）内配線改修も本工事とする。
4. 有圧扇コンセントは露出ボックス取付、配線接続替え。
5. 有圧扇スイッチは取り外しボックス内で結線替え。



(冷水水機制御盤よりインターロック)

改訂日	改訂記号	改訂内容	印

設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568

マツダ設計

514-0064 三重県津市長岡町800-90
TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590

管理建築士	承認	設計	製図
一級建築士 大臣登録 26460 松田 恭一			

本庁舎内空調機・熱源機更新工事

図面名 電気設備 (改修)・(撤去)
機械棟 平面図

2013 年月日
1/100 縮尺

No. E-4